

◎おもな出来事

・FOMC: 1年ぶりとなる政策金利の0.25%引き上げを決定した。メンバーの政策金利見直し(中央値)によると、2017年は3回の利上げが見込まれていることが明らかになった。FRB議長は次期政権下の経済・物価動向を見極めつつ、利上げペースを調整する考えを示した。・経済指標: 米国では、11月の小売売上高が市場予想を下回る伸びにとどまった。日本では10月の機械受注(船舶・電力を除く民需、前月比)が市場予想を上回る伸びとなった。12月の日銀短観によると、大企業製造業の業況判断指数が前回調査から改善した。中国では11月の小売売上高が市場予想を上回った。トルコの7~9月期実質GDP成長率(前年比)は、クーデター未遂事件の影響からマイナスとなった。・中央銀行: 日銀は超長期国債買い入れを前回から増額したほか、異例となる買い入れの予告も行った。政策金利については英国とインドネシアで据え置かれた。メキシコ中央銀行は通貨安に伴うインフレ圧力に対応し、市場予想を上回る幅の利上げを決定した。・政府: イタリアでは、不良債権問題から経営難に陥っている銀行に対して政府は支援の用意があるとの報道があった。株式市場では大手銀行の株価が大幅に上昇。・その他: OPEC非加盟の主要産油国は、OPECとの協調減産で合意した。原油相場は上昇して始まった後、もみあいとなった。

✓外国為替相場の動き

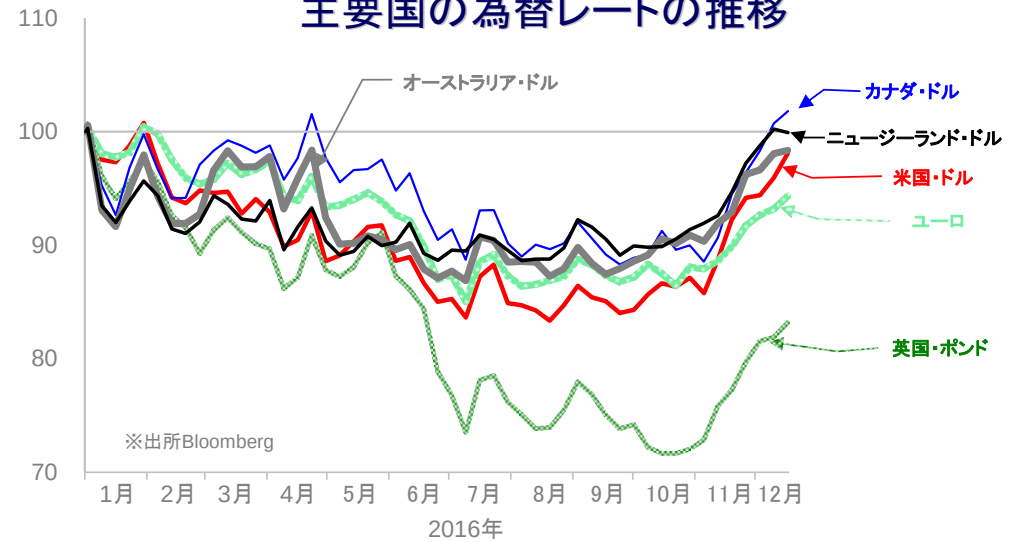
米国において2017年の利上げペースが加速するとの見方が広がったことから、米国・ドルは主要国通貨および新興国通貨に対して概ね上昇

✓外国為替市場

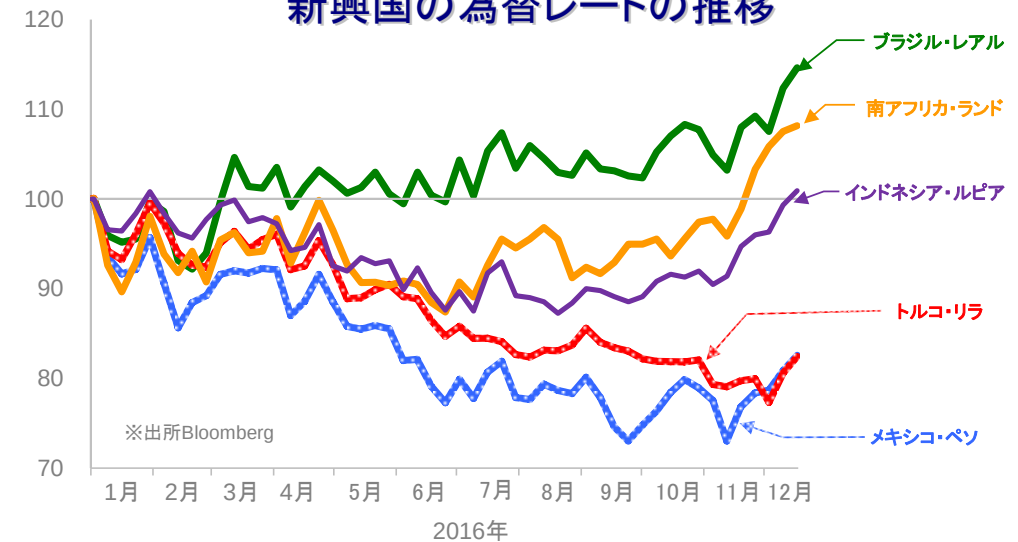
	通貨	12月16日	前回基準日	騰落率
		祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載		
主要国	米国・ドル	117.93	115.32	+2.26%
	ユーロ	123.22	121.76	+1.20%
	英国・ポンド	147.37	145.14	+1.54%
	カナダ・ドル	88.43	87.49	+1.08%
	オーストラリア・ドル	86.15	85.90	+0.29%
	ニュージーランド・ドル	82.04	82.28	-0.29%
新興国	ブラジル・レアル	34.810	34.110	+2.05%
	メキシコ・ペソ	5.772	5.653	+2.09%
	トルコ・リラ	33.945	33.182	+2.30%
	南アフリカ・ランド	8.404	8.353	+0.60%
	インドネシア・ルピア※	0.880	0.866	+1.62%
	中国・人民元	16.970	16.675	+1.77%

※100外貨あたりの対円レートを表示

主要国の為替レートの推移



新興国の為替レートの推移



※各為替レートの2015年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。